

令和元年度 農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿兒島県立市来農芸高等学校

1 目的

本校生徒が農業に対して興味・関心をより一層深め、農業関係機関・団体との連携を促進し、農業先進地視察を通して、広い視野と知識を身につけ、将来の農業後継者としてふさわしい人間を育成し、農村社会を支える人材の確保を目的とする。

2 実施状況

(1) 1年生先進地視察研修

本県における農業の実態や農政の現状を学習し、将来、新規就農者及び地域産業の担い手を育成するために、JAさつま日置北中部営農センター、鹿兒島県立農業大学校、いちごハウス木場等の施設を見学し、農業に関する知識を深めるとともに就農に対する意識が向上した。



県立農業大学校

(2) 2年生先進地視察研修

1年次の専門教科の実験・実習などの学習成果を踏まえ各学科での視察研修を行った。

農業経営科では、澤山オクラ農場や（有）モスオウキッドで栽培について学ぶことができた。

生物工学科動物類型では食肉センターの視察をすることにより命と向き合い、また農業生産法人のぞきでは畜産経営について学ぶことができた。植物類型では、えい育苗センターや薩摩酒造の視察を行った。各学科専門的農家や企業を視察することにより、高度な知識や技術を高め、日頃の授業や実習に活かすことができ進路実現に役立っている。



いちごハウス木場

(3) 営農の門出を励ます会

農業大学校5名、大学校3名、農業関連企業への就職2名の計10名を対象に実施した。市長を始め、多くの来賓の方々より激励のことばを頂き、生徒たちは決意を新たにした。



農業生産法人のぞき

3 今後の課題、取り組み

本校は、在校生の約9割が非農家の生徒であるが、日頃の専門教科の学習や地域連携活動の成果もあり、入学してから農業に対して興味・関心が高まる生徒が多い。今後も生徒のニーズを踏まえた専門性の高い学習を取り入れて、生徒の進路実現に資する研修としたい。



営農の門出を励ます会